



# 星の郷総合教室

No. 188

平成28年2月25日発行

電話072-895-6230

名前 \_\_\_\_\_

塾報受取日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 \_\_\_\_\_

## 星の郷教室 3月の予定

2月29日(月) 3月度授業料引落日  
(3月8日引き落とし予備日)

3月5日 暗算検定(通常授業あり)

3月13日 西日本大会

3月19日 全日本ユース大会申込締切

3月20日 近畿珠算競技大会

3月26日 3月i-test一斉実施日

**3月28日~4月2日**  
**そろばん春休み**

## 3月5日暗算検定について

すべての級を午前10時30分から行います。所要時間は約20分です。5日の受験が無理な受験生は、3・4日の授業中に受験できますので申し出て下さい。暗算検定日は原則として通常授業を休講としていますが、今回は午前8時30分と9時30分の通常授業を行いますので注意して下さい。

## 特別練習の予定と対象者

2月27日(土) 午後5時~7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 西日本大会出場者
- 近畿大会出場者
- 暗算検定受験者

3月5日(土) 午後5時~7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- 西日本大会出場者
- 近畿大会出場者
- i-test受験申込(予定)者

3月12日(土) 午後3時~5時

- 西日本大会出場者のみ  
午後5時~7時
- アドバンスト・チーム (A-team)
- 西日本大会出場者
- 近畿大会出場者
- i-test受験申込(予定)者

3月19日 午前10時30分~正午

- 近畿大会出場者
- ユース大会出場者

3月26日(土) 午後5時~7時

- アドバンスト・チーム (A-team)
- ユース大会出場者

## ☆3月13日西日本大会☆

集合…星田駅8時25分

帰り…星田駅18時頃

会場…大阪商業大学(近鉄河内小阪)

昼食の準備をしておいてください。電車賃は中学生で往復1000円以内です。現地集合・現地解散もできます。

## 3月20日近畿大会について

集合時間などの詳細は追って連絡します。会場は和歌山商工会議所です。

昼食を持ってきて下さい。会場に早めに着いて昼食を済ませます。見学はできますが、座席には限りがあります。現地集合・現地解散も可能です。

### 3月i-testについて

3月i-testは3月26日の午前10時30分から実施します。26日に受験を希望する皆さんは25日までに申込を済ませておいてください。26日に受験できない場合は、26日までの授業時間中に受験できます。

### 全日本ユース珠算選手権大会

2016年度の表記大会が4月24日に京都市・京都パルスプラザ（京都府総合見本市会館）で開催されます。西日本大会出場者や現在ユース大会の練習を行っている生徒の皆さん、i-testの全種目3rd stage以上を練習している皆さんで、参加基準点を越えた皆さんは出場できます。申込締切は3月19日、参加料は3000円です。

今年4月1日現在の満年齢が10歳以下の皆さんの部門（アンダー10）、12歳以下の部門（アンダー12）、15歳以下の部門（アンダー15）とに分かれて総合競技が行われ、全国順位がつきます。問題の難易度はかなり高度ですが、今から練習を重ねることで大幅な実力の向上が見込めます。大会を活用して、上手くなりましょう。

### 2月14日実施1～3級検定

#### 【1級合格】

由比彩葉 若林日和 兼松咲葉  
井上葵実

#### 【2級合格】

和泉琴音（満点） 有田蒼空  
池田優花 岡田亜瑠 甚野ひな

森本倫才 西松優大

#### 【3級合格】

井手蒼人 西井萌 伊藤優生 沼田輝  
藤本直也 山田創大 田邊大翔  
安原佑真

### 1月i-test昇級・昇段者

#### ◎珠算総合

2級 入口寛都 井上楽耀  
金子直毅 北尾明日希  
準2級 小野澤遼  
3級 森本爽月  
準3級 一宮敬智 森本一生  
4級 高山琴音  
5級 星野花音

#### ◎暗算総合

準初段 若林秀星 小倉璃空  
2級 茅島悠斗  
準2級 山根未来 金子直毅  
北尾明日希  
準3級 小林知世  
4級 沼田輝  
7級 入口寛都 石川ひなた

#### ◎かけ算

1級 山根未来 井上楽耀  
北尾明日希  
準2級 山城真里奈  
3級 安達菜々美 高山琴音  
準3級 山田知弥 星野花音  
4級 不破健太郎  
6級 高山翔太 上林剛士  
9級 青田裕哉

#### ◎わり算

1級 村田拡己  
2級 茅島悠斗 金子直毅  
準2級 小野澤遼  
3級 入口寛都 森本爽月  
準3級 森本一生  
6級 一宮敬智

7級 高山琴音

8級 星野花音

### ◎みとり算

1級 入口寛都 井上楽耀

2級 小野澤遼

準2級 安達菜々美

3級 高山琴音

4級 小林千尋 判田悠輔 薄井正寿

5級 山田青空

6級 松井一真 日高希愛 藤本湛  
松田藍花

7級 橋本琉矢 今中僚 山田千尋  
山口太雅

8級 榎本結

9級 江連雄大

10級 内藤圭吾

### ◎かけ暗算

準初段 小倉璃空

準2級 金子直毅 北尾明日希

3級 山根未来 小林知世

6級 高山琴音

7級 山田知弥

### ◎わり暗算

初段 若林秀星

1級 山根未来

2級 茅島悠斗

準3級 沼田輝

6級 入口寛都 小林知世

7級 石川ひなた

### ◎みとり暗算

1級 茅島悠斗

準2級 山根未来 小林知世

5級 小林千尋

6級 山田知弥

9級 上林剛士

## 出席時間20時間以上の生徒

(2月20日までの1ヶ月)

金本愛夢52 和泉初音51 梶本悠生51

盛井結子50 山内美空48 平生絵理47

和泉琴音45 奥田花45 永津敦之44

湊結子44 見山紀子44 大内峻聖43

奥田南海43 田代和花43 井上心結42

由比彩葉42 岩瀬菜々香39 山根未来

39 久本和奏37 大土井穂賀35 福井

太一35 藤江茉奈35 大上航正33 村

田拓己33 森本爽月32 大土井慧賀31

越野貴也31 沼田輝31 西井萌31 大

土井楓賀30 石川ひなた30 西松美咲

30 堀さやか30 西松優大29 吉永灯

29 井上楽耀28 金子直毅28 中村颯

希28 松岡晃大28 若林日和28 金本

大夢27 住吉海飛27 文沢駿介27 森

本倫才27 井上寛大26 久堀力翔26

楓陸26 大内悠聖25 池田優花25 茅

島悠斗25 兼松咲葉25 分林椿25 吉

村健太郎25 渡邊悠25 西井颯一朗24

古川愛佳24 松井一真24 上林剛士23

小林知世23 高山翔太23 高山琴音23

田中章太郎23 西畑美伶23 松田拓也

23 岩成海22 小林千尋22 近藤楓22

福田陸人22 一宮敬智21 金井里琥斗

21 澤田一心21 竹下綾音21 西村優

里葉21 松野未佳21 宮城葵21 大野

虹20 岩成桃20 熊谷圭祐20 田中広

美20 古川治親20 眞井夏希20 水越

友香20

(あと1時間だった皆さん) 岡田亜瑠 青田裕哉

木中心太郎 津隈瑛翔 平生道照 藤本直也

## 猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

八阪悠真72 吉村健太郎67 増美アリ

ナ63 八阪美咲56 池田心葉51 広部

有梨51 久堀力翔45 平尾悠真40 江

藤陸39 上井唯希38 板橋葵彩37 三

木翔雲37 下岡和生34 藤井琥太郎32

兼松祐介31 松田和也31 池田帆奈美  
29 平田峻大28 金井里琥斗26 松井  
百華24 服部愛瑠23

(あと1ページだった皆さん)

長小田幹太 安田和平

## フラッシュ暗算合格者

(2月20日までの1ヶ月間)

- 八段** 和泉初音 奥田南海  
**七段** 岩成桃  
**六段** 河野美紅 山内優歩  
**四段** 越野貴也 西村優里菜  
**三段** 奥田花  
**初段** 森本爽月  
**2級** 石川ひなた 福原健太  
**3級** 入口寛都 分林央華 久本和奏  
**4級** 分林央華 木中心太郎 高山優  
由比幹太  
**5級** 由比幹太 大橋碧 上林剛士  
判田悠輔 藤原梨乃 松井一真  
森山紗英 柳田涼音  
**6級** 大橋碧 松井一真 神山兼槻  
高谷楓乃 中川瑞希 中野佑美  
西村悠治 松田和真  
**7級** 西村悠治 松井一真 大橋碧  
松田和真 判田悠輔 外間彩乃  
**8級** 薄井正寿 山根蒼馬 山口太雅  
**9級** 山口太雅 加地美空 橋本栞里  
**10級** 加地美空 橋本栞里 澤田一心  
三木翔雲 山田青空

## 検定試験

～初歩からの進み方～

初歩教材の『PERFECT』を4冊終え  
ると、暗算力の強化と計算の正確性を  
養う「J1」という練習を行います。  
J1の卒業試験をクリアすると、かけ  
算・わり算の習得に進んでいきま  
すが、卒業試験になかなか合格できず

J1の練習にとどまる生徒は少なくあ  
りません。卒業の条件は2桁のたし算  
をよどみなく珠算式暗算でできるよう  
になることですが、暗算力には個人差  
が大きくあることから卒業時期にばら  
つきが出てきます。

そろばんを習う大きな目的の一つに  
珠算式暗算能力を身につけることがあ  
りますから、ここはどうしても避けて  
は通ることのできない関門なのですが、  
生徒によって関門の高さを多少上  
下させる場合があります。学年、性  
格、間違え方、速度、時間を計ってい  
ないときの間違い直しに取り組む姿勢  
や暗算練習に対する態度等々を総合的  
に判断して、まだこの場所にとどまら  
せるべきか、あるいは少々無理な状態  
でも先に進ませるべきかを決定してい  
ます。

数ヶ月後や数年後に思いを巡らせる  
とき、生徒たちの未来のあるべき姿は  
同じなのですが、そこにたどり着くま  
での道のりはみんな違ってはいますし、  
違っては良いのです。今スムーズに  
進んでいるから将来もスムーズに進む  
という保障はありませんし、その逆も  
また当然あり得ます。

2桁×2桁のかけ算のやり方を習う  
と、すぐにi-testのかけ算レベル1の  
練習に入ります。レベル1を7分間で  
36題以上正答すると、答えが6桁にな  
るかけ算の方法を習います。ここまで  
来ると、かけ算の計算の決まりをすべ  
て知っていることになるのですが、し  
かしいざ時間を計ると、覚えているこ  
とを覚えたとおりに再現できずに、間  
違えを繰り返す生徒が出てきます。そ  
んな場合は、わり算を習う時期に来て

いたとしてもしばらく教えずにかけ算が成熟するのを待ちます。『決まりを覚える』段階の一步先である『決まりを守って表現する』意識が完全に心の中に育ってからわり算を覚えた方が、結果的に早く進む場合がほとんどだからです。隣では、一足早くわり算を覚えた友達が座っているかもしれません。悔しくて、焦ってしまうかもしれません。でも、待つのです。かけ算の練習を繰り返すことで、頭の中でかけ算九九を唱える速さは磨かれますし、数字を見て判断し、指先に伝えて正しく操作するという繰り返しの訓練は、確実に実力を高めていきます。やがてわり算を習う条件がそろった頃には基礎体力は育っていますから、やりさえ覚えればすぐに隣の友達に追いつくことが可能なのです。

#### ～必要なものを必要なときに～

先にご紹介しましたJ1は、5分で計算できると、指の動きは、会議所検定の3級みとり算を合格するレベルになります。またこの5分という時間は、多くの生徒たちがJ1を卒業していく目安にもなっています。ですから、J1を卒業し、かけ算・わり算のやり方を覚えた頃には、実は3級を超える実力を持っている生徒がほとんどになっているのです。

生徒のみなさんは、各自が今一番ふさわしい課題を克服するために日々練習を繰り返し、ちょっとした成就感や少しばかりの挫折感を毎時間味わいながら少しずつ少しずつ前進して、気がつけば習い始めた頃よりも技術的にも人間的にもはるかに成長していきませんが、そんな日常に良いスパイスとなる

のが検定試験や大会です。

試験・大会には何十年も続いているものもあれば、ここ数年の間に始まったものもありますが、すべてそのときどきの社会の要請や珠算教育関係者の願いによって実施されてきました。

現在、星の郷教室は、参加することのできる大会にはすべて参加しています。また、検定試験は、日本商工会議所主催珠算能力検定試験、日本珠算連盟段位認定試験、大阪珠算協会主催暗算検定試験、大阪珠算協会主催i-testの、4つの試験を受験しています。

「生徒たちを伸ばすために今一番ふさわしいもの」を享受できる環境に教室として参加できるのは有り難いことですし、生徒のみなさんにも是非成長するためにこれらの「制度的保障」を活用して欲しいと思っています。

そこで今回は4つの検定試験について、星の郷教室が受験を勧める狙いを書いてみます。問題内容が違いますので性質も少しばかり違いますが、「ふさわしい」ものと時期を考慮して、生徒のみなさんには個別に声かけをして受験を勧めています。

#### ◎日本商工会議所主催珠算能力検定試験

毎年2・6・10月に実施されるそろばんの検定試験です。検定試験の中でも歴史が最も古いものの一つです。

制限時間30分、1級のかけ算は主に6桁×5桁、わり算は5桁で割って答えも5桁、みとり算は10桁の数字10個をたしたり引いたりするような問題が出題されます。過去、種目・制限時間・内容に幾度かの見直しがなされて現在はこのような内容に至っています。



全問題を解くにはかけ算1題あたり30秒、みとり算は60秒で計算と答えの記入を必要とし、その間、指が動く回数はかけ算で数十回、みとり算では数百回に及びます。わずか1カ所でもミスをするとう×になりますから、99%を超える正確性をもってしても不合格になります。こうしたことから、星の郷教室では、能力検定の主目的を「集中力の養成訓練」と位置づけています。

#### ◎大阪珠算協会主催暗算検定試験

毎年3・6・9・12月に実施される暗算の試験です。珠算式暗算は、そろばんによる計算方法を知っている人だけでできる技術ですから、そろばん教室として最も力を入れる分野です。

珠算式暗算は、暗記とは違い、頭の中にそろばんの珠が動く様子を思い描きながら行いますから、そろばんの練習をしっかりすることが前提となります。できるようになるまでにかかる時間は人それぞれみんな違いますし、そもそもどの程度を「できる」とするかも意見が分かれるところですが、少なくとも「キリン」や「ゾウ」を頭の中に描くことができる人ならば、珠算式暗算はできるようになります。

ただ、毎日キリンやゾウを見ている人と、たまにしか見ない人とでは、情報量が全く違うのと同様に、珠算式暗算もコツコツとした「意識的で有目的な」練習の積み重ねがモノをいいます。星の郷教室では暗算検定を「暗算力」と「計算速度の向上」を目指すために意味のある練習をする効果的な教材として位置づけています。

#### ◎大阪珠算協会主催i-test

2012年11月から始まった新しいテス

トで、奇数月に実施されています。かけ算・わり算・みとり算・かけ暗算・わり暗算・みとり暗算の6種目から受験種目を選択でき、点数によって合格級・合格段が決定される試験です。

かけ暗算では6000×500のような問題、わり暗算ではあまりを書かなければならない問題が含まれていたり、小数の乗除も暗算の問題として出題されます。また、みとり算では、桁がそろっているものやふぞろいのが混ざっていて、途中の計算もややこしくしてあります。とにかく、1問題ずつしっかりと考えて取り組まないとなかなか点数に結びつきません。星の郷教室のメイン練習となっているi-testは「計算力」と「計数感覚」の両方を磨くものとして位置づけています。

i-testをメイン練習にすえたところから、前述の能力検定や暗算検定を受験するまでに要する練習時間が大幅に短縮されました。

#### ◎日本珠算連盟段位認定試験

能力検定と同日に実施される検定試験です。珠算段位認定試験と暗算段位認定試験とに分かれていて、両方を受験することも、一つだけ受験することもできます。最高位10段をとるには、1級の3倍の速度を必要とします。

星の郷教室では、段位認定試験を「頭脳スポーツ」として位置づけています。一秒を縮めるために多くの努力と工夫を重ねるスポーツと同様、どこまで自分を高めていけるかに、生徒たちが取り組んでいます。2016年2月14日に行われた段位認定試験には、星の郷教室から39名が受験しました。結果は来月号の塾報で掲載します。

-----  
各検定をご紹介してみました。あえて、特徴付けしてみました。実際には、能力検定の練習をする中でも暗算力が育ちますし、高度な集中力がないとi-testの桁の間違いが頻出しますし、暗算練習で育った暗算力が能力検定での弾き間違いを防いだりしますから、垣根がハッキリしているわけではありません。どの検定の練習に取り組んでも「集中力」「計算力」「暗算力」は伸びていきます。ただ、制限時間や問題内容の違いによって、それぞれの検定が持つ得意な領域がありますから、私見を述べてみました。

なお、平成28年6月から、能力検定1級も星の郷教室で受験することができるようになりました。また、土曜日受験も可能になりましたので、これですべての試験を星の郷教室で受けることができ、受験日も複数日から選択できるようになります。

## 練習の密度

### ～落とし穴～

1時間の練習で、消費したプリントが10枚の生徒と1枚の生徒とでは、練習の密度において10倍の開きがあるように思えますが、実はあながちそうとも言い切れないところがあります。

実力が同じで、練習メニューも同じ2人ならば密度の違いと言い切って差し支えないかもしれませんが、覚えるために何度も何度も同じプリントを繰り返すほうが効果的な練習になる場合があるからです。

指導する側が陥りやすいワナ、それは「類題」です。

生徒の質問に対して一通りの説明を加えた後に出す問題の「類題」は、指

導者側の思惑と質問する生徒との思惑の間にズレがある場合があります。

指導者は、生徒に定着を促す目的で出題するのですが、生徒にとっては新たな「課題」になってしまうことが少なくなくて、指導者の親切心が生徒にとっては「一難去ってまた一難」となるのです。

先の項目であげたわり算の指導などではよくこの場面が出てきます。

たとえば「 $114 \div 19$ 」。すぐに答が6とわかる場合は本当にまれであって、ふつうは何秒も何十秒も考えて答えが出るか、あるいは「わかりません」となります。

こんな場合、私は、説明をするか、あるいは生徒自身が答を見つけるまで待ちます。「説明する」か「待つ」かの判断基準は、今までの理解力と間違えたパターン、そのときの意欲・目の力・雰囲気などになりますが、どちらにせよ幸いにして答が6とわかった瞬間、私の頭の中には「 $126 \div 18$ 」のような「類題」が浮かんできます。

「 $114 \div 19$ 」は、答を考えることに限ると「 $138 \div 23$ 」よりも格段に難しいものです。特に習い始めの生徒にとっては鬼のような問題です。原理はわかったとしても一瞬で答がひらめくようになるまではひたすら経験を積まなくてはなりません。

質問をして説明を受けるという一連の流れの中で、答を出すことばかりにあまりに集中しすぎて、わり算の計算そのものがすっぽり頭の中から抜け出てしまうこともあります。

そこに「類題」という追い打ちが来るのですから、質問者にはたまったも

のではありません。126÷18という類題が、類題ではなくてまったく新たな課題になってしまうのです。

こんな場合、114÷19が理解できた時点で、しばらく時間をおくか、または138÷23のような易しい問題を課題として出します。わり算のやり方を確認しつつ、自分でできるという意識を再度芽生えさせることが目的です。そして、ふたたび114÷19にチャレンジしてもらい、スムーズにできればおそるおそる126÷18を出題するのです。

そうすることで、ようやく出題者の意識と質問者の意識が合致し始めるのです。

#### ～見えないものにも正しい評価を～

生徒の質問に含まれる問題点のいくつかを想像しながら説明していく作業が指導の根幹の一つになります。

さて、生徒によっては、上のようなやりとりを何度も繰り返す場合があります。数行上に書きました「スムーズ」という部分で、少しでも引っかかりがあったり、または完全に丸暗記したものを再現しているような雰囲気があり、理解が伴っていないと判断できるようであれば、行きつ戻りつの練習が始まります。そうすると、1時間の練習で、進んだのはわずか数問題だけ、ということも十分起こりえます。

しかし、その数問題には実は答えとしては新たに書かれていなくとも数十題分の努力が詰まっていますから、こなししたプリント数だけで密度を判断すると間違えてしまう場合がありますというのは実はこういうことなのです。

五郎丸選手で一躍脚光を浴びているラグビー。先のワールドカップ、南ア

フリカ戦で日本が大金星を挙げた最後のトライ映像が幾度となく放送されてきました。でも、あのトライに結びつくまでの繰り返された攻撃や、ペナルティキックを選択して同点引き分けを狙わなかったこと、さらには最初から南アフリカ戦での勝利を目指して国内から準備を続けていたことなど、トライという栄光の前に莫大な努力があります。

見えるものの前提には、見えないものや、あえて見せないものが必ずあるということ、子供の成長に関わる私たち全員が心に留めておく必要があります。

#### 傷害保険について

日常生活で他人にけがを負わせてしまったとき、無制限で保障する保険のご案内を昨年配布いたしました。個人加入で月200円の保険料という内容のものでしたが、家族加入ですとご家族何人でも1ヶ月の保険料が全員で300円という連絡が来ました。教室にパンフレットがありますのでご興味のある方はご連絡ください。保障は教室への往復や自転車事故だけにとどまるものではなく24時間カバーされます。

#### 新入会生募集中です

新学期に向けてそろばん学習をお考えのお友達、ご兄弟、お知り合いの皆さんに、是非ご紹介ください。

すべての人に珠算式暗算能力を習得してほしいと願っています。同時に、正しい努力が正しい伸びにつながることを実感して、自分のあらゆる可能性にチャレンジする精神を養って欲しいと願っています。